光化学オキシダント (OX)

表1に示すとおり一般局の北部、西南部、小立野、西部、駅西局の5測定局全てで短期的評価による環境基準を超過した。環境基準を超過している状況はこれまでずっと継続している。令和3年度の全国の状況も同様であり、測定局数1,148局のうち環境基準を達成している局は2局であった。

昼間の日最高1時間値の年平均値は、図12に示すとおり過去10年間でほぼ横ばいであった。金沢市全体の環境基準(0.06ppm)超過日数は、53日であり、過去10年間で最も低い日数であった。

月平均値は、図2に示すとおり春季に最も高く、夏季、秋季に低い結果となった。 経時変化は、図3に示すとおり9時から上昇し、14時でピークとなり16時以降減少

経時変化は、図3に示すとおり9時から上昇し、14時でピークとなり16時以降減少した。

測定局	昼間測定 日数	昼間測定 時間	昼間の1 時間値の 最高値	昼間の日 最高1時 間値の年 平均値	昼間の1時間値 が0.06ppmを超え た日数と時間数		昼間の1時間値 が0.12ppm以上の 日数と時間数	
	(日)	(時間)	(ppm)	(ppm)	(日)	(時間)	(日)	(時間)
北部	365	5454	0.088	0.047	46	318	0	0
西南部	365	5460	0.088	0.049	49	358	0	0
小立野	364	5432	0.086	0.044	34	255	0	0
西部	365	5463	0.085	0.047	41	283	0	0
中央	_	_	_	_	_	_	_	_
駅西	365	5455	0.084	0.046	37	262	0	0
本市平均			0.086	0.045				
全国平均 (R03)				0.047				
環境基準			0.06 以下 (短期)		0.06 以下 (短期)			

表1 一般環境大気測定局における光化学オキシダントの年間測定結果

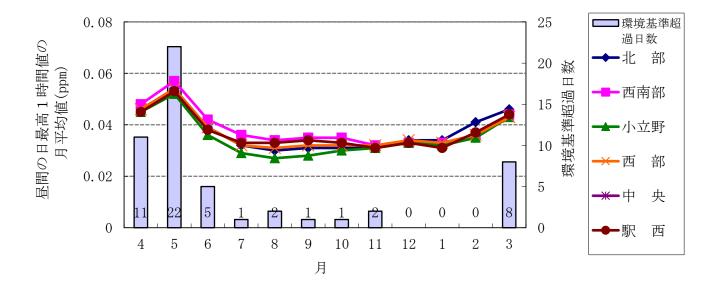


図1 光化学オキシダントの年平均値と環境基準超過日数の経年変化

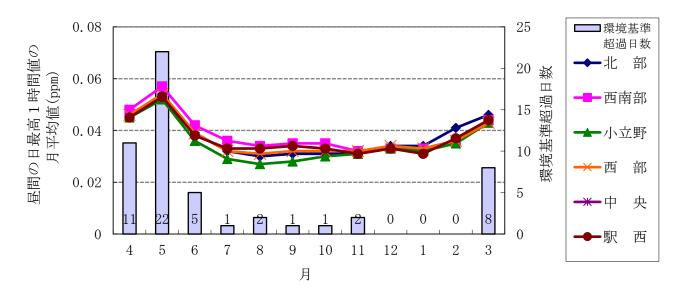


図2 光化学オキシダントの月平均値と環境基準超過日数の経月変化

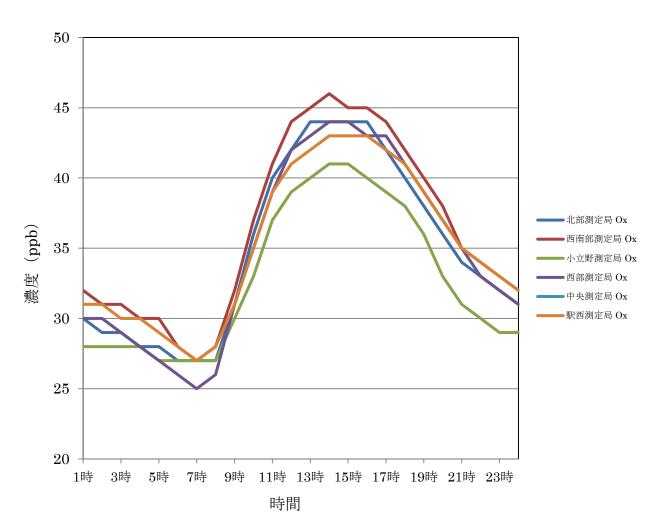


図3 光化学オキシダントの1時間値の経時変化